

新市立病院設計事業者選考基準（案）について

1 一次審査

一次審査は、一定の参加資格を満たす一級建築士事務所から提出された会社実績等の内容を審査し、上位5者程度を一次審査通過者として選考するものです。

選考基準は表1のように考えています。一次審査の得点は、原則、二次審査の結果に影響しないこととし、二次審査結果が同点となった場合には、一次審査の結果を加味することとしたいと考えています。

2 二次審査

二次審査は、一次審査通過者から提出される技術提案書及びヒアリングにより総合的な審査を行うものです。

選考基準は表2のように考えています。この基準に従い表3を用いて採点していただきますが、各委員の採点を平準化する目的で、採点いただいた順位を、再度、順位に応じた点数に置き換え、その合計点の最も高い者を最優秀者、次点を優秀者とします。

最優秀者を新市立病院基本設計業務委託候補者とし、随意契約の手続きを進めます。ただし、最優秀者との間で契約を締結することができない場合には、優秀者を本業務委託候補者とします。

3 その他

不測の事態が生じた場合は、選考委員会の判断により、協議の上決定します。

表1 一次審査選考基準（案）

評価項目	評価の着眼点	判断基準	加点			
事務所	病院の実績	① 過去10年間に於ける公的病院等※の一般病床300床以上の基本設計及び実施設計の実績が3件以上の場合	+4	最大16点		
		② ①の実績のうち、450床以上の実績を有する場合	+4			
		③ ①の実績のうち、免震構造の実績を有する場合	+4			
		④ ①の実績のうち、公立病院※の実績を3件以上有する場合	+4			
事務所規模		① 一級建築士の技術者数(正社員)：30名以上の場合	+2	最大4点		
		② 一級建築士の技術者数(正社員)：50名以上の場合	+2			
配置予定技術者	過去業務の実績・立場	管理技術者	① 様式4に記載された設計実績において、管理技術者の立場での担当実績を3件以上有する場合	+5	最大10点	
			② ①の管理技術者の立場での担当実績に、公立病院を含む場合	+3		
			③ ①の管理技術者の立場での担当実績に、受賞歴※を有する場合	+2		
		意匠主任技術者	① 様式5-1に記載された意匠主任技術者以上の立場での実績を2件以上有する場合	+4	最大20点	
			② 上記の実績を5件以上有する場合	+6		
			③ ①の実績に公立病院を2件以上含む場合	+6		
			④ ①の意匠主任技術者以上の立場での担当実績に、受賞歴を有する場合	+2		
			⑤ 意匠主任技術者が認定登録医業経営コンサルタントの資格を有している場合	+2		
		注：管理技術者と意匠主任技術者が兼務する場合、管理技術者の加点項目のみを計上する。				
		構造主任技術者	① 様式5-2に記載された構造主任技術者としての担当実績に、免震構造の病院を含む場合	+7	最大7点	
		電気設備主任技術者	① 様式5-2に記載された電気設備主任技術者としての担当実績が300床以上の病院の場合	+2	最大7点	
			② ①の電気設備主任技術者としての担当実績が災害拠点病院の場合	+5		
		機械設備主任技術者	① 様式5-2に記載された機械設備主任技術者としての担当実績が300床以上の病院の場合	+4	最大10点	
② ①の機械設備主任技術者としての担当実績が災害拠点病院の場合	+6					
専門分野技術者	① コスト管理担当として、別途、認定コンストラクション・マネジャーの有資格者を配置する場合	+6	最大6点			
合計			最大80点			

※公立病院：都道府県若しくは市町村が設置する病院をいう。

公的病院等：医療法第31条に規定する厚生労働大臣が定める者の開設する病院及び独立行政法人国立病院機構、国立大学法人が設置する病院をいう

※受賞歴の対象となる建物は「病院」に限り、建築賞等は以下のとおりとする。

(一社) 日本医療福祉建築協会 医療福祉建築賞(準賞を含む。)

(一社) 日本建築学会 日本建築学会賞

(公社) 日本建築士会連合会 日本建築士会連合会賞、同優秀賞、同奨励賞

(一社) 日本建築士事務所協会連合会 日事連建築賞

(公社) 日本建築家協会 JIA日本建築大賞、JIA優秀建築賞、日本建築家協会賞

(一社) 公共建築協会 公共建築賞、同特別賞、優秀賞

表2 二次審査選考基準（案）

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点	
取組意欲		管理技術者	10	30※
		意匠主任技術者	20	
業務の実施方針 及び手法 （評価に当たっては、技術提案書の内容及びヒアリングの結果により、総合判断する。）	業務の理解度	業務内容、業務の背景等への理解が高い場合に優位に評価する。	5	5
	業務の実施方針及び計画	業務への取組体制、設計チームの特徴、特に重視する設計上の配慮事項等について（ただし、提案テーマに対する内容を除く）、的確性、独創性、実現性等を総合評価する。	5	5
	提案テーマ①	その的確性（与条件との整合性が取れているか等）、独創性（工学的見地に基づく独創的な提案がなされているか等）、実現性（提案内容が理論的に裏付けられており、説得力のある提案となっているか等）を考慮して総合的に評価する。	15	50
	提案テーマ②		15	
	提案テーマ③		10	
提案テーマ④	10			
価格点		見積金額を評価する。	10	10
合 計				100

※ 管理技術者と意匠主任技術者が兼務する場合、管理技術者の配点項目のみを計上する。

表3 技術提案書+ヒアリング（二次）採点用紙

選考委員名 _____

評価の着目点	評価事項	各委員の評価点					この欄に採点を御記入下さい					
		極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分	A	B	C	D	E	F
取組意欲	ヒアリングの実施により、管理技術者の積極性・意見集約力・コミュニケーション能力を評価する。	10	8	6	4	0						
	ヒアリングの実施により、意匠主任技術者の積極性・意見集約力・コミュニケーション能力を評価する。	20	15	10	5	0						
業務の理解度	業務内容、業務背景等の理解度、積極性を評価する。	5	4	3	2	0						
業務の実施方針及び計画の的確性、獨創性、実現性	業務への取組体制、設計チームの特徴（協力体制・業務分担等）、特に重視する設計上の配慮事項等について、的確性、獨創性、実現性等を総合評価する。	5	4	3	2	0						
評価テーマに対する技術提案の的確性、獨創性、実現性テーマ①～⑤テーマごとに配点	設定したテーマに対する技術提案について、的確性（与条件との整合性が取れているか等）、獨創性（工学的見地に基づく獨創的な提案がされているか等）、実現性（提案内容が理論的に裏付けられており、説得力のある提案となっているか等）を考慮してテーマごとに総合的に評価する。	テーマ①	15	12	9	6	0					
	テーマ②	15	12	9	6	0						
	テーマ③	10	8	6	4	0						
	テーマ④	10	8	6	4	0						
価格点	価格点＝満点10点×{(上限価格－自社の提案価格)/(上限価格－提案価格のうち最低価格)}	事務局にて計算					—	—	—	—	—	—
合計点数		90点～0点										
順位		1位～〇位										

採点いただいた順位を、再度、順位に応じた点数に置き換え、その合計点の最も高い者を最優秀者、次点を優秀者とします。
 （1位：100点、2位：90点、3位：80点、4位：70点、5位：60点、6位：50点）